

平成30年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年11月14日

上場会社名 株式会社 TRUCK - ONE
 コード番号 3047 URL <http://www.truck-one.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小川 雄也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 真崎 高利
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 福
 TEL 0833-44-1100

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第3四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第3四半期	3,128	6.0	13	61.7	29	39.9	16	47.3
29年12月期第3四半期	3,329	15.9	35	1.6	49	12.3	32	6.7

(注) 包括利益 30年12月期第3四半期 15百万円 (53.6%) 29年12月期第3四半期 34百万円 (47.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第3四半期	7.06	
29年12月期第3四半期	13.40	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年12月期第3四半期	3,414	634	18.6	264.33
29年12月期	3,152	630	20.0	262.81

(参考) 自己資本 30年12月期第3四半期 634百万円 29年12月期 630百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期		2.50		2.50	5.00
30年12月期		2.50			
30年12月期(予想)				2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,169	5.2	55	8.5	50	27.9	39	7.9	16.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年12月期3Q	2,552,000 株	29年12月期	2,552,000 株
期末自己株式数	30年12月期3Q	153,100 株	29年12月期	153,100 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年12月期3Q	2,398,900 株	29年12月期3Q	2,398,900 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済環境は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、最近相次いでいる自然災害の影響、米中間を中心とした貿易摩擦の激化、米国のイランに対する経済制裁の再開が見込まれることによる原油価格の上昇といった経済に悪影響を与えるリスクがあるため、依然として先行きが不透明な状況が続いております。このような状況の下、当社グループの主力事業である商用車関連事業は、高年式車両を中心とした事業用車両の販売台数は堅調に推移しているものの、市場において新車のモデルチェンジの影響により、新古車の販売に一服感が見られ、売上高は微減、営業利益が前年同期を下回ることとなりました。

運送関連事業につきましては、子会社である株式会社T.L.Gと丸進運油株式会社が行っており、当第3四半期において売上高はほぼ横這いで推移しているものの、車両入替に伴う減価償却費の増加、人件費の増加及び燃料費の高騰の影響を受け、減益となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績としては、売上高3,128,681千円（前年同期比6.0%減）、営業利益13,462千円（前年同期比61.7%減）、経常利益29,615千円（前年同期比39.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益16,942千円（前年同期比47.3%減）となりました。

セグメントごとの業績は以下のとおりです。

①商用車関連事業

中古車市場の一服感を受け、高年式車両の利益率が低下したことの影響もあり、商用車関連事業の売上高は2,571,989千円（前年同期比6.5%減）、セグメント利益は19,515千円（前年同期比26.0%減）となりました。

②運送関連事業

新規ドライバー採用による人件費の増加及び原油高による燃料の高騰の影響を受けたことにより、運送関連事業の売上高は556,691千円（前年同期比3.7%減）、セグメント損失は11,689千円（前年同期はセグメント利益8,339千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は3,414,677千円となり、前連結会計年度末に比べ262,088千円の増加となりました。このうち流動資産は194,540千円増加して2,325,213千円となりました。主な要因は商品及び製品が187,552千円増加したことによるものです。また固定資産は67,547千円増加して1,089,463千円となりました。主な要因は有形固定資産の賃貸用資産が28,493千円、その他が32,951千円増加したことによるものです。

負債合計は2,780,572千円となり、前連結会計年度末に比べ258,431千円の増加となりました。このうち流動負債は265,743千円増加して2,599,871千円となりました。主な要因は支払手形及び買掛金が154,271千円、短期借入金が98,000千円増加したことによるものです。また固定負債は7,311千円減少して180,700千円となりました。主な要因は退職給付に係る負債が4,193千円、長期未払金が1,809千円減少したことによるものです。

純資産合計は634,104千円となり、前連結会計年度末に比べ3,656千円の増加となりました。主な要因は利益剰余金が4,678千円増加し、その他有価証券評価差額金が1,022千円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年12月期の連結業績予想につきましては、平成30年2月14日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	348,914	312,384
受取手形及び売掛金	230,428	245,933
商品及び製品	1,520,078	1,707,630
原材料及び貯蔵品	3,063	3,875
繰延税金資産	13,529	7,927
その他	15,375	48,112
貸倒引当金	△716	△650
流動資産合計	2,130,673	2,325,213
固定資産		
有形固定資産		
貸貸用資産(純額)	85,846	114,339
土地	410,973	410,973
その他(純額)	338,817	371,769
有形固定資産合計	835,637	897,083
無形固定資産合計	14,565	12,856
投資その他の資産		
投資有価証券	119,835	128,780
破産更生債権等	1,189	1,189
繰延税金資産	4,904	3,614
敷金及び保証金	22,449	22,023
その他	24,347	24,930
貸倒引当金	△1,014	△1,014
投資その他の資産合計	171,712	179,523
固定資産合計	1,021,915	1,089,463
資産合計	3,152,589	3,414,677
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	740,784	895,055
短期借入金	1,360,000	1,458,000
1年内返済予定の長期借入金	13,067	-
リース債務	40,066	47,261
未払金	122,077	104,840
未払法人税等	27,800	1,969
賞与引当金	1,024	8,571
その他	29,306	84,173
流動負債合計	2,334,128	2,599,871

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
固定負債		
リース債務	148,294	148,282
長期未払金	3,623	1,814
繰延税金負債	1,407	110
退職給付に係る負債	34,687	30,493
固定負債合計	188,012	180,700
負債合計	2,522,140	2,780,572
純資産の部		
株主資本		
資本金	97,725	97,725
資本剰余金	44,955	44,955
利益剰余金	495,514	500,193
自己株式	△14,481	△14,481
株主資本合計	623,713	628,392
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,734	5,712
その他の包括利益累計額合計	6,734	5,712
純資産合計	630,448	634,104
負債純資産合計	3,152,589	3,414,677

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
売上高	3,329,054	3,128,681
売上原価	2,935,068	2,771,012
売上総利益	393,986	357,668
販売費及び一般管理費	358,817	344,206
営業利益	35,168	13,462
営業外収益		
受取利息	5	47
受取配当金	687	701
受取保険金	1,726	597
保険解約返戻金	764	529
持分法による投資利益	10,221	15,967
その他	8,150	3,755
営業外収益合計	21,557	21,599
営業外費用		
支払利息	5,379	4,923
その他	2,082	523
営業外費用合計	7,461	5,446
経常利益	49,264	29,615
特別利益		
固定資産売却益	-	399
特別利益合計	-	399
特別損失		
役員退職慰労金	-	5,000
特別損失合計	-	5,000
税金等調整前四半期純利益	49,264	25,015
法人税、住民税及び事業税	23,895	1,969
法人税等調整額	△6,771	6,103
法人税等合計	17,124	8,073
四半期純利益	32,139	16,942
親会社株主に帰属する四半期純利益	32,139	16,942

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	32,139	16,942
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,157	△1,022
その他の包括利益合計	2,157	△1,022
四半期包括利益	34,297	15,919
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	34,297	15,919
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	商用車 関連事業	運送 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,750,777	578,276	3,329,054	—	3,329,054
セグメント間の内部売上高 又は振替高	111,586	29,331	140,918	△140,918	—
計	2,862,364	607,608	3,469,972	△140,918	3,329,054
セグメント利益	26,357	8,339	34,696	471	35,168

(注) 1 セグメント利益の調整額471千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成30年1月1日 至 平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	商用車 関連事業	運送 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,571,989	556,691	3,128,681	—	3,128,681
セグメント間の内部売上高 又は振替高	96,468	21,807	118,276	△118,276	—
計	2,668,458	578,499	3,246,957	△118,276	3,128,681
セグメント利益又は損失(△)	19,515	△11,689	7,825	5,636	13,462

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額5,636千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。